

gTLDの動向

ICANN報告会

2005年5月18日

丸山直昌

JPNIC

gTLDの最近の動き

- .net後継レジストリ選定(最終段階)
- sTLD申請の処理(継続中)
- 削除ドメイン名の再登録(継続中)
- ドメイン名の強奪(ハイジャック)事件(新)

削除ドメイン名の再登録(1)

問題の背景

- gTLDでは .jp の「同時申請期間」のような仕組みはない
- ドメイン名が削除される瞬間を狙って各レジストラがやたらに多くの登録コマンドを発行する
- レジストリの申請受付機能がマヒする
- 一レジストラ当たりの登録コマンドの使用回数が制限される
- 子レジストラをやたらに作るレジストラが現れる

削除ドメイン名の再登録(2) 解決案

- 入札制
- 実際にドメイン名が削除される前の5日間 (pending delete period)に入札
- 始値は0
- 落札額の10%はレジストリの収入
- 残り90%は旧レジストラが受け取る
- 旧レジストラは受け取った額を旧登録者と分け合う

削除ドメイン名の再登録(3)

- 旧レジストラと旧登録者の「分け前」？
旧レジストラと旧登録者の間の契約による
ことになる

削除ドメイン名の再登録(4)

- .jpのように抽籤にできるか？
 - 架空の名前を使った抽籤希望者をどう防ぐか？
抽籤制は困難

ドメイン名の強奪事件(1)

- panix.comの強奪が2005年1月中に起きた
 - レジストラ変更を使って、新レジストラを騙した
 - 新レジストラはメルボルンITだった
 - panix.com はインターネット関係者には古くから知られているドメイン名だったため、強奪が発覚した時に関係者に助けを求め、救済された
- かつてhertz.com と hz.comも強奪されたこともあったが、そのときは旧レジストラは偽の「移転同意メール」を受け取っていて騙された

ドメイン名の強奪事件(2)

- 解決策？